



米工 MAKERS

米工通信 第390号

令和7年10月3日

鳥取県立米子工業高等学校

担当者 橋本 隆宏

9月27日(土)、文化の部において5つの団体にブースを、本校PTAには模擬店を開いていただきました。以下にブース等の内容と様子を紹介します。

業界団体ブースとPTA模擬店

運輸 JR西日本中国統括本部

保線作業で使用する各種の道具や鉄道の仕事について紹介されていました。体験コーナーでは、レールを枕木に固定する犬釘の打ち付けや固定用のクリップの紹介、線路に敷かれているバラスト(碎石)を突き固めるために使用するタイタンパ、ボルトの緩みをハンマーで叩いて確認する打音検査などが行われていました。このブースで体験した小学生が、将来鉄道の仕事で活躍する姿が目に見えました。



自動車整備 鳥取県自動車整備振興会

ボルト当てクイズやタイヤ交換体験などが行われていました。ボルト当てクイズは、パズルを組み立てた後、そこに合うボルトを選んで取り付けるというものでしたが、小学生から高校生まで、多くの子ども達が真剣に取り組んでいました。ブースには、プラグインハイブリッド車も展示されており、車のバッテリーから電気が供給されていました。タイヤ交換など、子ども達にとって、とても良い経験ができたと思います。



建設 鳥取県西部建設業協会 青年部会

電動マイクロショベルを使ったリアルクレーンゲームが行われていました。重量が330kgと軽く、子ども達はすぐに操作を覚え、上手にボールをすくっていました。ブースでは、沢山の建設業界の方々が来場者をサポートし、周りに子どもたちが列をなし、活気にあふれていました。ブースで体験した子供たちが、将来、地元の建設業で活躍する姿が見られるかもしれません。



鳥取県産業教育振興会 学校法人柳心学園 産業免許スクール

農業散布などで使用される大型のドローンの展示やドローンシミュレーターを使った操作体験が行われていました。また、現場で働くために必要な資格を得るための技能講習や特別教育についても詳しく説明をされていました。体験コーナーでは、子ども達が集中して、コントローラーを操作する姿が見られました。今後、様々な分野でドローンが使われるようになるのだろうと思いました。



鳥取県産業教育振興会 王子製紙株式会社

紙抄き体験が行われていました。まず、始めにパルプを溶かした水を50g、その後水を入れてトータル400g、そこにポリビニルアルコール(10%)を1滴加え、枠に流し込みました。その後、丁寧に脱水を繰り返し、最後にアイロンがけをし、1枚のはがきができました。沢山の作業工程がありましたが、大人も子どもも楽しんでつくっている姿が見られました。



PTA 模擬店

カレーライスとチュロス、ジュースの販売が行われていました。お昼前には行列ができ、子どもから大人まで、多くの方々が買い求め、ブース周辺ではおいしそうに食べている姿が見られました。沢山の保護者の方にお世話になりました。ありがとうございました。



米工 HP